

景観学習(H22平川小学校編)

山口市立平川小学校から依頼を受け、平成22年11月から12月に掛けて、山口県景観アドバイザーである金子さんの御協力の下、総合学習の時間を活用した景観学習を実施しました。

景観学習を実施した小学校としては延べ4校目、平川小学校では昨年に引き続いての開催となり、今回は第3学年全体を対象とした学習となりました。

平川小学校の第3学年では、第1学期に平川地区の散策を実施していることから、今回の学習は継続した取組とし、担任である岩本先生からは、「最終的には、児童から発信する形にしたい。」との要望があったことから、以下のような内容で景観学習を実施しました。

●第1回：景観探しの導入

- ・五感による景観の見方・感じ方の説明
- ・県内の良好な景観資源の紹介
- ・景観探しのポイント説明、校内での景観探し

●第2回：景観探しの実践

- ・校外での景観探し
- ・景観マップづくり、発表

●第3回：「平川 きらきらスクール」での発表

今回の学習を通じ、児童達は自分たちが住む地域の景観に触れるとともに、身近なものを探ることの楽しさに触れたようでした。

児童達の見つけた景観及び景観学習の状況を、どうぞ御覧ください。

■実施年月日■

第1回：平成22年11月12日(金曜日)

第2回：平成22年12月9日(木曜日)、10日(金曜日)、14日(火曜日)

第3回：平成23年1月21日(金曜日)

■景観学習の内容■

【第1回】景観探しの導入

(1) 五感による景観の見方・感じ方の説明、県内の良好な景観の紹介

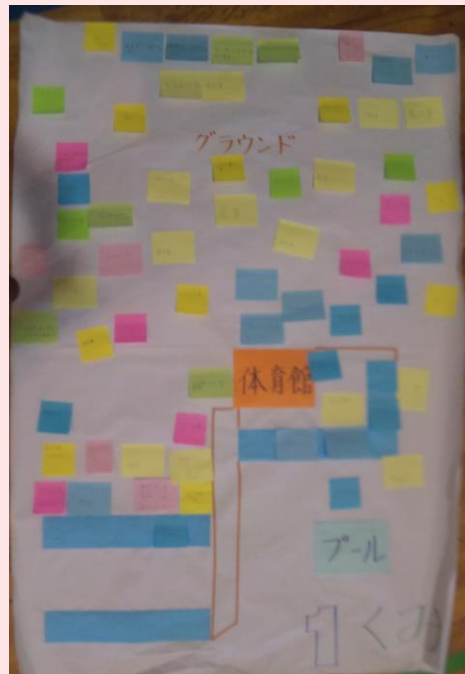
県職員による五感を使った景観の見方・感じ方の説明及び県内の良好な景観資源の紹介、市職員による児童達に身近な山口市内の景観資源について、クイズなどを交えながら説明しました。

楽しいクイズで景観を学習！！



(2) 校内での景観探し

五感による景観の見方・感じ方を学んだ児童たちに景観探しを実体験してもらうため、校内での景観探しをしました。実施に当たり、景観探しのポイントについて、山口県景観アドバイザーの金子さんに説明していただきました。



ピンク色が「におい」、黄色が「音」、青色が「おもしろいもの」、緑色が「すきなもの」
みんなで見つけた景観を集めて、立派な平川小学校の地図が完成～！

【第2回】景観探しの実践

(1) 校外での景観探しの実施

1クラスを6班（1班5～6人ずつ）に分け、平川小学校周辺を中心とした校外での景観探し（まち歩き）を実施しました。児童達は、「音景観記録係」、「におい景観記録係」、「おもしろ景観記録係」、「かっこいい景観記録係」、「デジカメ記録係」の各担当に分かれ、一生懸命景観探しを行いました。



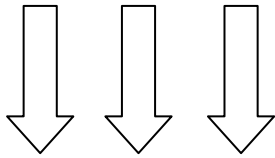
校外で景観探しをする児童達の様子

(2) 景観マップの作成

児童達が見つけた景観を集めて、景観マップを作成しました。また、「イチオシ景観」や「お気に入りの景観」を選んで発表するなど、オリジナリティあふれる景観マップができあがりました。



景観マップ作成、発表の様子



児童達が見つけた平川の景観は
こちら！（一例です。）



【第3回】：「平川 きらきらスクール」での発表

児童達が五感を働かせて見つけた身近な景観を、それぞれ工夫をしながら発表しました。



～担任の岩本先生の感想～

<景観学習っておもしろい>

「この水道管、竜みたい。ここ、ここ、ここみてっちや。」

「上手に写真とってよ。」

「学校の屋上にでっかいプリンだあ!!」

「あの木の幹、はなっこりんみたい。」

「中学校の外灯・・・下から見ると大きな目玉みたいじゃあ。」

「音、音がする?・・・なんじゃろう?」

「下を水が流れちよるんじゃあ。」

生き生きと興奮した子どもたちの声、輝いた目・・・、班に1台のデジカメを大事に抱えて仲良く声はずませて、ふるさと平川を歩く。

通り慣れた道を歩くのだが、友だちと五感を働かせながらの町歩きは、感激の連続で、興奮は冷める様子もない。

計画はしたものの3年生の子どもたちが、きちんと目的をもって班で役割分担をして、景観をみつけて歩くことができるだろうか。平川のまちに子どもたちがひきつけられる景観があるのだろうか。そんな不安を払拭する子どもたちの興奮した声に、ついて歩く私の方まで子どもたちの笑顔をカメラにおさめないではいけないほどであった。

景観学習をした後には、日常の生活の中で、

① (ある子) 「先生、今日の雲さあ、光っちょってきれいと思わん?」

(別の子) 「おれも、そう思っちょった。」

(先生) 「あ、ほんとじゃあ。」

② (ある子) 「先生、運動場のタイヤ、竜の背中みたいやね。」

と日頃のなにげない風景にみんなが目をむけて、ほんわかする時間を過ごすことができた。

作文の指導をしても、「あなたたちの文章をシュークリームにたとえると、皮ばかりでおもしろくない。おいしい中のクリームがない。」「〇〇しました。楽しかったです。」

じゃあ何がどう楽しかったのかわからん。皮だけでおいしくないシュークリームじゃね。とって一生懸命指導をしてきていたが、この景観学習をしてから子どもたちの作文の中にも、聞こえたもの、みつけたもの、臭った物、触った感覚、特別なもの、この子にしか書くことができない光る表現ができるようになってきた。

五感を働かせる・・・子どもたちがこれから先、彩りのある人生をおくるために身に付けるべき、大切な力なのではないかと改めて感じる機会になった。私自身も、分刻みであわただしく生活していたところを子どもたちとふっと空を見上げ、「ほんとじゃ、〇〇に見えるねえ。すごい、よくみつけたねえ。」と笑い合うすてきなひとときをもらった。

1月の地域開放型参観日で、総合的な学習発表会「きらきらスクール」で堂々と自分が見つけた景色を発表し、自分たちのふるさとを思う気持ちを伝えていた子どもたち。子どもたちの成長には驚くばかりである。

3年生6クラスを2クラスずつで、3日間にわたって多くのスタッフの方が来校していただき、活動を支援してくださいました。本当にありがとうございました。